

VAISALA

Vaisala in Japan, for Japan

Vaisala KK company overview | ヴァイサラ株式会社 会社概要

本社併設の
クリーンルームで
製造される
センサチップ



Taking every measure for the planet

この地球のために あらゆる計測／手段を実行します

ここ日本から、この地球のために。

“四季”の国である日本が、いつの間にか“二季”となり、100年に1度という言葉も日常的となった日々。明らかにこの地球の気候変動が全く違う局面に入ってしまった事を実感しています。この状況を改善するあらゆる手段を速やかに実行に移す、現在の手段で足りなければ、創り出す私たちが取り組むべき最優先事項です。

2024年2月末に発表した『この地球のためにあらゆる計測／手段を実行する』という新たなパーパスは、気候変動の解決に対し大きな責任を持つべき企業、という私たちの自負を表しています。

課題を解決する手段において、生成AIをはじめとするデジタル技術の活用は欠か

せません。一方で、その基礎となるデータの品質の向上、数値化可能な領域の拡大が、そうした最新技術の活用による成果、課題解決の進展を大きく左右する事について、疑いの余地はありません。

ヴァイサラは、目に見えない事象を業界最高クラスの精度で連続的かつ安定的に数値化し、アナログとデジタルを柔軟に連携しながら、脱炭素、エネルギー転換などの重要な意思決定に貢献します。

ヴァイサラ日本法人は、2023年の設立から40周年を迎えました。計測の専門集団としてこれまでもこれからも、国内のお客様のさまざまな技術的挑戦と一緒に取り組み、実用化を加速して参ります。



高橋 宏行 Hiroyuki Takahashi
ヴァイサラ株式会社 代表取締役

私たちが貢献するメガトレンド

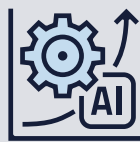


Energy transition & decarbonization

エネルギー転換 & 脱炭素

風力、太陽光、バイオガス、水素のような再生可能エネルギーへの世界的なエネルギー転換は、慎重な立地選定、リアルタイム予測機能、安定生産のための継続監視などを必要とします。計測機器とインテリジェンスは、発電所やインフラの常時監視により、変動電源の出力向上に役立ちます。

脱炭素化は、例えば電化、エネルギー効率、炭素回収、貯留によって達成され、リチウムイオン電池製造の露点監視による品質、持続可能性、コスト効率の向上、CCUSやDACなどの脱炭素アプリケーションのCO₂管理を支援しています。



AI & process optimization

AI & 工程最適化

AIと工程の最適化には、信頼できる正確なデータが不可欠。それは、最も過酷な環境においても同様で、そうした技術が、環境モニタリング、天気予報、冬期保守の最適化などを支援します。

Xweatherは、気象、環境データにより工程最適化を支援しています。AIの進展で演算、ストレージの需要が高まり、関連市場が成長しています。半導体メーカーは、品質と生産量を両立すべく、露点、温度などの計測機器機器を活用し、データセンター事業者にとっては、電力消費抑制のための屋内環境計測が不可欠です。



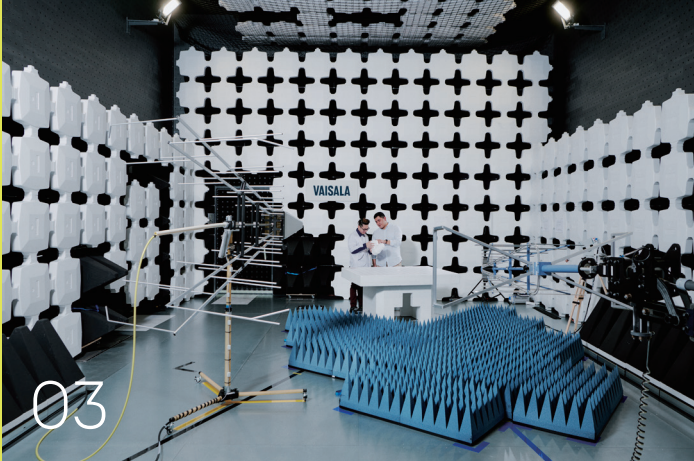
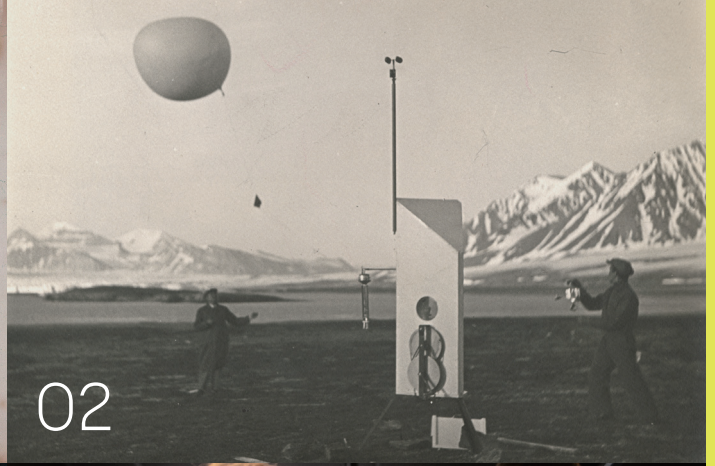
Health & well-being

健康 & ウェルビーイング

健康意識の高まり、医薬品の安全要件の厳格化、気候変動への影響においても、計測機器は重要です。屋内監視システムは、医薬品やワクチンの開発、製造、サプライチェーン、研究室や病院などにおいて不可欠。公共施設やオフィスの空気品質管理は、人々の健康と福祉に直結します。

人々を脅かす気候変動による異常気象の増加に対しては、より信頼性の高い測定と観測が重要です。環境観測、予測、早期警報システムにより、社会や専門機関が環境変化を理解し、緩和し、適応する能力を構築することを支援します。

Since 1936



01: 創業者 ヴィルホ・ヴァイサラ博士 (Dr. Vilho Väisälä, 撮影時期: 1950年代) | 02: ヴァイサラ博士による気象観測用ラジオゾンデの実用化が祖業 (撮影時期: 1937年)
03 / 04: 約30%の社員がR&Dに従事、技術革新への戦略的な継続投資が競争力の源 | 05: 秘匿的技術や世界中への安定供給を支える自社クリーンルームと製造チーム
06: NASAの火星探査機“Curiosity”と“Perseverance”には、ヴァイサラの湿度、圧力センサが搭載され、地球と火星の2つの惑星で活躍!

From Finland



秋、フィンランド ヴァンター市の本社よりヴァンター川を臨む

ヴァイサラについて

ヴァイサラは、気候変動対策のための計測機器およびインテリジェンスの分野における世界的なリーディング企業。私たちは、資源効率の改善、エネルギー転換の推進、世界中の人々や社会における安全とウェルビーイングのため、お客様に機器やデータを提供しています。そして、約90年にわたり蓄積してきた技術革新や専門知識とともに、2,300人を超えるエキスパートチームを擁して地球のためのあらゆる計測／手段の実行に尽力しています。

私たちの成功のための4つの源泉

- お客様への理解とアプリケーションノウハウ
- 製品と技術に関するリーダーシップ
- サプライチェーンの卓越性
- パーパス志向の文化と人材

ヴァイサラのキーナンバー

150	: お客様の国籍	2300+	: 従業員数
300+	: 製品群	4.1/5	: 従業員満足度
540M	: 売上 (€、2023)	59	: 従業員の国籍
1400+	: 週間出荷台数	28%	: R&D社員割合



ヴァイサラのリーダーシップチーム

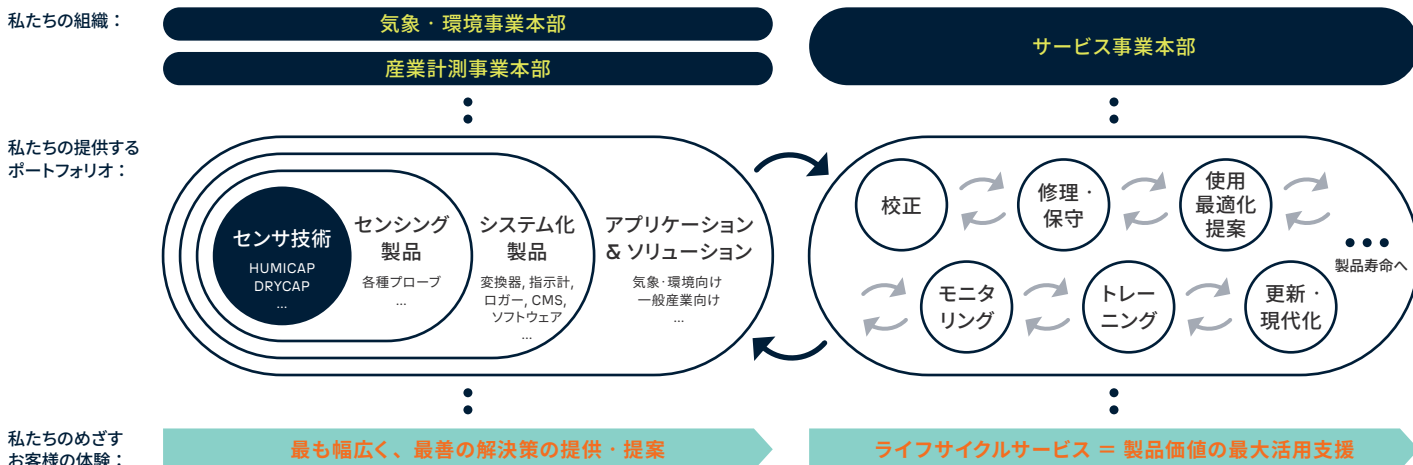
ファーストストーリー：ラジオゾンデ実用化の父

1931年、フィンランドの冬の松林で、小さな金属製の“驚き”が発見されました。それは、初期の気象観測用ラジオゾンデ。装置はヘルシンキ大学の気象学教授、ヴィルホ・ヴァイサラの手に渡りました。“素晴らしいアイデアだ！ だが、まだまだ工夫の余地がある！”それがヴァイサラ教授の見解でした。

数年後、改良版ラジオゾンデを手にした彼は、1936年、最初の注文先であるマサチューセッツ工科大学へ、それを届けました。真のスタートアップ精神に基づく大志は、フィンランドの国境を超え、VäisäläはVaisalaに。科学に基づく技術革新に重点を置き、相対湿度測定の常識を覆したHUMICAPなどの技術革新を紡ぎ、現在、計測技術の世界標準の一翼を担っています。

事業概要／製品ポートフォリオ

>> ヴァイサラ株式会社 基本情報はP8



気象・環境事業

人々の安全、資産の保護や運用におけるデータ主導の意思決定を支援。再エネ活用など気象に影響される事業運営を支援すべく、観測データ配信サービスに注力。

主要産業分野：

気象, 航空, 再生可能エネルギー, 道路&自動車

最新技術の例：

Xweather：局所的気象に関する現在データ、予報データなどを提供する革新的なサブスクリプションサービス (DaaS, SaaS)。自動車やエネルギーなどの分野と強力なパートナーシップを推進、気象認識に基づく自律走行技術の進化などに貢献。

再生可能エネルギー：風力発電所の開発を支援するリモートセンシングによる風況観測を可能にしたウィンドライダーを提供。太陽光発電所の効率を最適化にも貢献する新ウェザーステーションを発表。

産業計測事業

製品リーダーシップに重点を置き、革新的技術による事業成長を追求。お客様に信頼性の高い正確なデータを提供、工程の収益最適化や環境負荷低減などに貢献。

主要産業分野：

一般産業：半導体、次世代電池、データセンター、脱炭素 (CCUS, DAC, メタネーション...) などの分野に、温湿度、露点、CO₂、メタン、H₂O₂計測向けのハイエンド機器、システムを提供。

環境モニタリングシステム (CMS)：製薬などのライフサイエンス分野向け、GxP準拠が要求される製造環境や倉庫にソリューションを提供。

電力：電力変圧器の絶縁油中ガス連続監視装置 (オンラインDGA) を提供。

液体計測：インライン式屈折計を中心に半導体、化学、食品・飲料、紙パルプ、ライフサイエンスなどの分野に液体濃度計測ソリューションを提供。

サービス事業

サービスセンター、リモート/オンサイトサポートなど、お客様のニーズに合わせサービスを提供。機器の精度を最高水準に維持すべく包括的なケアを提供します。

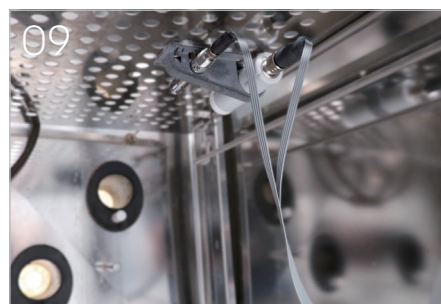
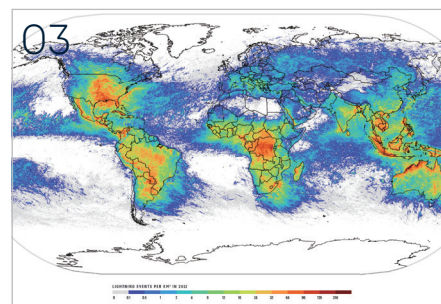
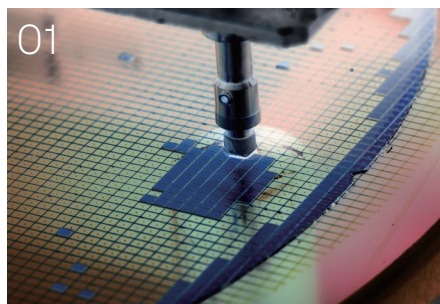
主要サービス品目：

- 修理・校正サービス
- メンテナンス&アップグレード
- プロジェクトサービス
- リモート/デジタルサービス
- テクニカルサポート
- トレーニングサービス

東京サービスセンター：

世界4ヶ所のサービスセンターの1つ。2001年に開設、国内のお客様のご要望により柔軟に対応すべく体制を整えています。各種認証を取得、調整・校正に精通した技術エキスパートが支援します。

01 半導体製造装置や設備に温湿度計、露点計等を提供 | 02 国内バイオガスプラントでCO₂等を計測するマルチガスプローブ | 03 グローバル雷検知ネットワーク
07 化学、半導体、食品等、幅広い液体濃度を計測 | 08 GxP対応、ワイヤレス式の屋内環境モニタリングシステム(CMS) | 09 インキュベータに設置されたCO₂計、温度計





湿度温度計

路面状態観測

視程計・現在天気計
・ディストロメータ

風向
風速計

複合気象観測

大気観測

風況観測

防衛気象



露点計



専用
ソフトウェア



統合
プラットフォーム



CO₂ &
各種気体計測



液体濃度計測



電力変圧器向け
油中ガス監視



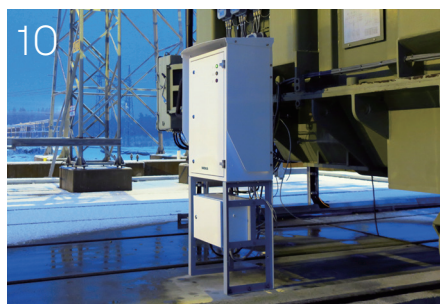
油中
水分計



CMS/屋内環境
モニタリング



04 データセンターの空調管理ロスを最小化する環境監視 | 05 世界の主要自動車メーカー等で導入が進むXweather | 06 露点計で次世代電池の開発製造を支援
10 電力変圧器の常時監視で電力インフラを支援 | 11 SaaS等の技術活用で倉庫や美術館等の環境監視を手軽化 | 12 風況等の高精度な気象観測は再エネ普及にも不可欠



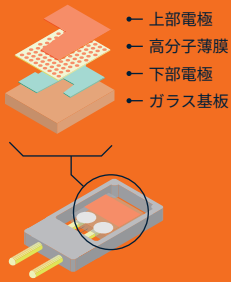
独自のセンサ技術...?

精度、長期安定性、応答性といった本質的な価値を向上すべく、弛まぬ技術革新によって、センサや補助機能の独自技術を確立。

ヴァイサラセンサ

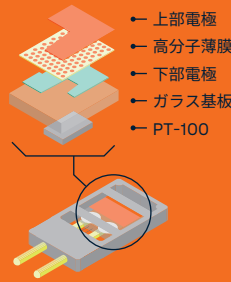
HUMICAP®

相対湿度センサ
高分子薄膜静電容量式



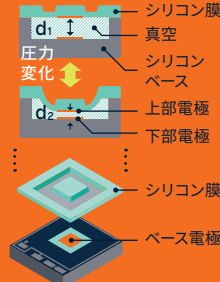
DRYCAP®

露点センサ
高分子薄膜静電容量式



BAROCAP®

圧力センサ
シリコン製静電容量式



Polaris™

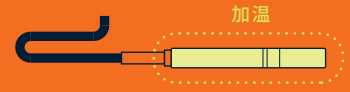
液体濃度計測向け屈折計
デジタルイメージ方式



センサ機能

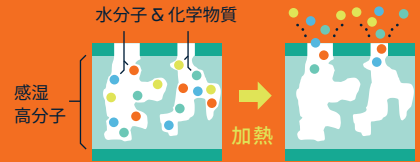
加熱機能

高湿度環境下でセンサの結露を防止



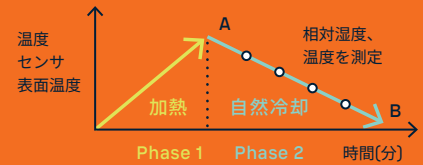
センサバージ - 水分/ケミカル

加熱で水分、化学物質を自動除去



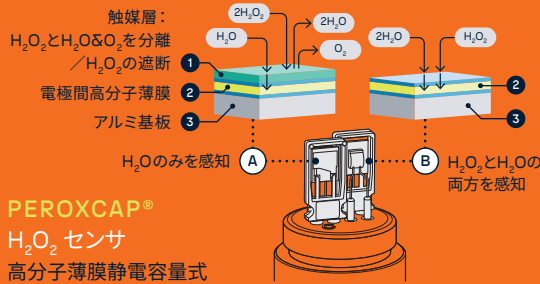
自動補正機能

一定間隔で自動的にオフセット補正



CARBOCAP®

CO₂ センサ
非分散型赤外線吸収法 (NDIR)



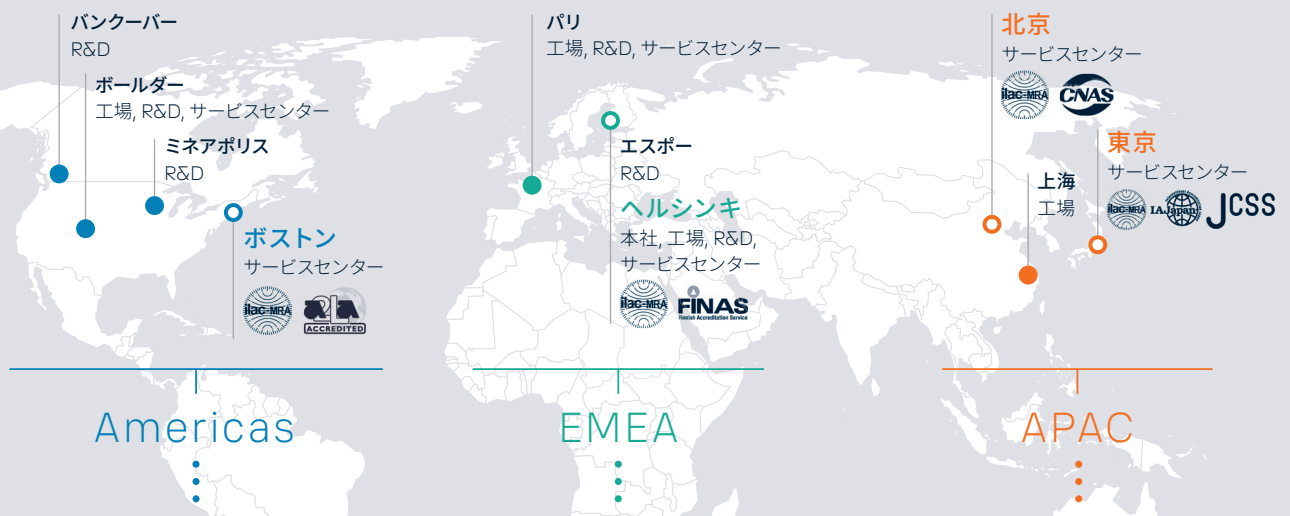
PEROXCAP®

H₂O₂ センサ
高分子薄膜静電容量式

グローバル サービスネットワーク

300の製品ファミリー、67,000種超の部品。品質や効率に妥協せず、大規模な製品ポートフォリオを管理することが私たちの中核を成す強みのひとつです。本社のある欧州をはじめ、主要地域である北米、中国、日本のサービスセンターを中心に17カ国24拠点から、150カ国のお客様にサービスを提供しています。

世界各地の主要拠点



2300+ 従業員

24 拠点

17 カ国

400+ パートナー

ヴァイサラ株式会社 基本情報

商号	ヴァイサラ株式会社 (英文名: VAISALA KK)	
設立	1983年5月28日	
代表者	高橋 宏行	
役員	代表取締役	高橋 宏行
	取締役	ヤルッコ・サイラネン
	取締役	アンネ・ヤルカラ
本社所在地	東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング16F	
電話番号	03-5259-5960	
資本金	4,000万円	
社員数	55名	
事業内容	気象用、産業用の計測機器および付属部品に係る輸出入、販売、コンサルティング、システム構築、保守、校正、修理	
親会社	VAISALA OYJ (Helsinki, Finland)	
主要取引金融機関	三菱UFJ銀行 神楽坂支店 みずほ銀行 飯田橋支店	
URL	https://www.vaisala.com/ja	
国内拠点	大阪セールスオフィス	大阪府大阪市北区茶屋町16-1 H'IO梅田茶屋町 7F
	福岡セールスオフィス	福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-25 アクロスキューブ博多駅前 3F
沿革	1931 (S.6)	ヴィルホ・ヴァイサラ教授、静電容量式ラジオゾンデの開発に着手
	1936 (S.11)	ヴィルホ・ヴァイサラ教授、VAISALA OYJを設立
	1983 (S.58)	ヴァイサラ株式会社、東京都港区に設立
	1985 (S.60)	ラジオゾンデ・船用高層気象観測装置、気象庁観測船に採用
	1993 (H.5)	VAISALA OYJ、ISO9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
	1995 (H.7)	気圧センサ、国産の半導体製造装置に初採用
	2000 (H.12)	露点計、国内のバッテリー製造プロセスに初採用
	2002 (H.14)	JCSS校正事業者 (湿度) 認定取得
	2009 (H.21)	気象庁高層気象観測網向けに自動高層気象観測装置が4官署、高層気象観測装置が6官署に採用
	2016 (H.28)	VAISALA OYJ、設立80周年
	2016 (H.28)	滑走路視距離計、日本国内の空港に採用
	2016 (H.28)	ヴァイサラ株式会社、本社を東京都千代田区に移転
	2020 (R.2)	超音波式風向風速計、気象庁アメダス(AMeDAS)に採用
	2022 (R.4)	加温式露点計、気象庁アメダス(AMeDAS)に採用
	2023 (R.5)	ヴァイサラ株式会社、設立40周年

お問い合わせ

ヴァイサラ株式会社

本社

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング 16F
Tel. 03-5259-5960

大阪セールスオフィス

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町16-1 H'IO梅田茶屋町 7F
Tel. 06-6940-7568

福岡セールスオフィス

〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-25 アクロスキューブ博多駅前 3F
Tel. 092-419-7179

